

南紀熊野ジオパーク

ジオサイト 尻劍谷製錬所跡 現地探索試行ツアー



紀伊半島南部には、奈良・平安時代から鉱山があったと言われています。那智勝浦町においては、昭和13年に、日本鉱業から石原産業に経営権が移り本格的な近代的鉱山経営が始まりました。さらに昭和29年に、三菱金属に経営権が移りましたが、昭和47年には、世界の銅価格の暴落により閉山となりました。

那智川右岸支流尻劍谷には、そういった近代鉱業以前の坑道口、製錬所跡、鉱滓の堆積場、墓石群、神殿跡などが残されていて、平成27年にジオサイトに設定されました。

江戸時代には、妙法鉱山は日本で10本の指に入る重要な鉱山でした。しかし、記録があまり残されていません。これらの施設は、熊野だけでなく日本の歴史文化を知るうえで貴重なものと思われます。

日時 2月7日（日）

午前コース 製錬所跡、間吹きの窯跡、神殿跡、棚田跡、坑道口、住居跡などを巡ります。

9時開始 11時半終了予定

午後コース 鉱山労働者の墳墓群（二か所）を中心に、手掘りの坑道口跡などを巡ります。

13時開始 16時終了予定

申し込み NPO熊野みんなの家 代表者 阪口

（TEL）0735-30-4560

※参加費は無料です。

※安全確保のため 午前午後それぞれ 申し込み順に先着10名までとします。

※ハイキング程度の服装・運動靴で参加をお願いします。

※雨天決行（雨具等、ご準備ください）



集合場所 熊野健康接骨院前駐車場（那智勝浦町市野々3987）

ジオパークとは、「その地域の大地のなりたちを知るだけでなく、歴史・文化・動植物・食などを通じて、大地と人の暮らしの関わりを実感して楽しむ『大地の公園』です。ジオに関わる自然遺産や文化遺産を保護しつつ、それらを教育や科学の普及、地域振興策などに活用します。保護と活用の両面を重視する点が、主に保護を目的とする世界遺産とは異なる点です。」（南紀熊野ジオパークホームページ・県民の友1月号より）

ジオサイトとは、「ジオパーク内の見どころのこと、自然遺産として価値が認められるものです。ジオサイトには、地質や地形だけでなく、ジオと歴史・文化との関係や、ジオと人々の暮らしとの関係を体感できる場所も含まれています。」（阿蘇ジオパークホームページより）